

OT 評価ツール選択・比較シート

基本情報

症例 / 利用者	_____	評価日	_____
場面 / 生活課題	_____	記入者	_____

1. 今日、何を明らかにしたい？

今日 明らかにしたいこと	主役	必要時に追加	選ぶ理由
本人の言葉から重要な作業課題を特定し、変化も追いたい	COPM	GAS	半構造化面接で課題を特定し、遂行度・満足度を再評価できる
視覚的な選択肢から作業候補と優先順位を共有したい	ADOC	COPM / GAS	イラストを介して作業選択と共有意思決定を進めやすい
実際の ADL / IADL で遂行の質を標準化して評価したい	AMPS	GAS	実際の課題遂行を観察し、遂行の質を標準化して評価する
個別目標の達成段階を本人・チームで共有したい	GAS	COPM / ADOC	- 2 ~ +2 の 5 段階を事前定義し、達成度を評価する

「必要時に追加」は固定順序ではありません。1つのツールで問いに答えられる場合は、無理に併用しません。

2. 4 ツール比較 | 問い・方法・残る情報で選ぶ

ツール	中心となる問い	主な方法	主に残る情報	運用上の注意
COPM	本人に重要な作業上の問題は何か。認識はどう変化したか	半構造化面接 + 本人評価	優先した作業、遂行度・満足度と再評価時の変化	公式手順・評価票の利用条件に従う
AMPS	実際の ADL / IADL をどの程度うまく遂行できているか	標準化された課題遂行の観察・採点	ADL 運動能力・ADL プロセス能力など	正式評価は所定の教育・評価者校正・スコアリングが必要
ADOC	どの作業を大切にし、目標として共有するか	イラストを用いた作業選択と対話	選択した作業、優先順位、満足度など	選択だけで終わらず、目標・介入・再評価へつなげる
GAS	個別目標を期待水準に対してどこまで達成したか	介入前に 5 段階の達成条件を設定	- 2 ~ +2 の達成段階	各段階を観察可能で重複しない条件にする

本シートは「どのツールを主役にするか」を整理する選択支援用です。各尺度の公式評価票・正式な実施手順を代替するものではありません。

3. COPM と ADOC で迷ったら

迷う場面	候補
本人の言葉から課題を深掘りし、再評価もしたい	COPM
イラストがある方が作業を選びやすい	ADOC
遂行度・満足度を同じ枠組みで追いたい	COPM
作業選択を共有意思決定として進めたい	ADOC

4. 必要なときだけ併用する

併用例	役割分担
ADOC → COPM → GAS	視覚提示で作業共有 → 必要なら本人評価 → 必要なら達成段階
COPM → GAS	重要な作業課題 → 必要なら具体的な達成条件
AMPS → GAS	正式な遂行評価 → 必要なら個別目標の達成段階

併用例は標準プロトコルではありません。別の問いが残ったときだけ追加します。

5. 今回の記録メモ

今回の主役ツール	_____	必要時に追加 / 再評価で見ること	_____
具体化した作業 / 目標	_____	判定根拠 / 次回までに試すこと	_____

ver. 2026-08-21 / rehabilikunblog.com / v2

1